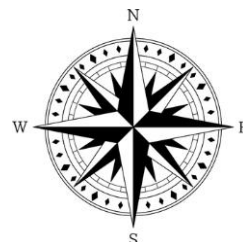


# 羅針盤



R7. 7 キャリア教育課だより No 2 文責：木村

今回の進路だよりは、小学部のキャリア教育についてです。小学部のキャリア教育（進路）と聞くと、まだピンとこないかも知れませんが、小学部でも学校生活全般でキャリア教育に取り組んでいます。例えば、挨拶や身支度・身だしなみです。このような日常生活の活動は、将来働くための土台となる重要な要素を占めています。そこで今号では、「働くために必要な力」と「小学部のキャリア教育の取り組み」をお伝えします。

## ☆働くために必要な力って？☆

6月に高等部3年生の産業現場等における実習がありました。そこで、事業所の方から「卒業までにつけたい力」について教えていただきました！



### 【一般企業・就労継続支援 A 型】

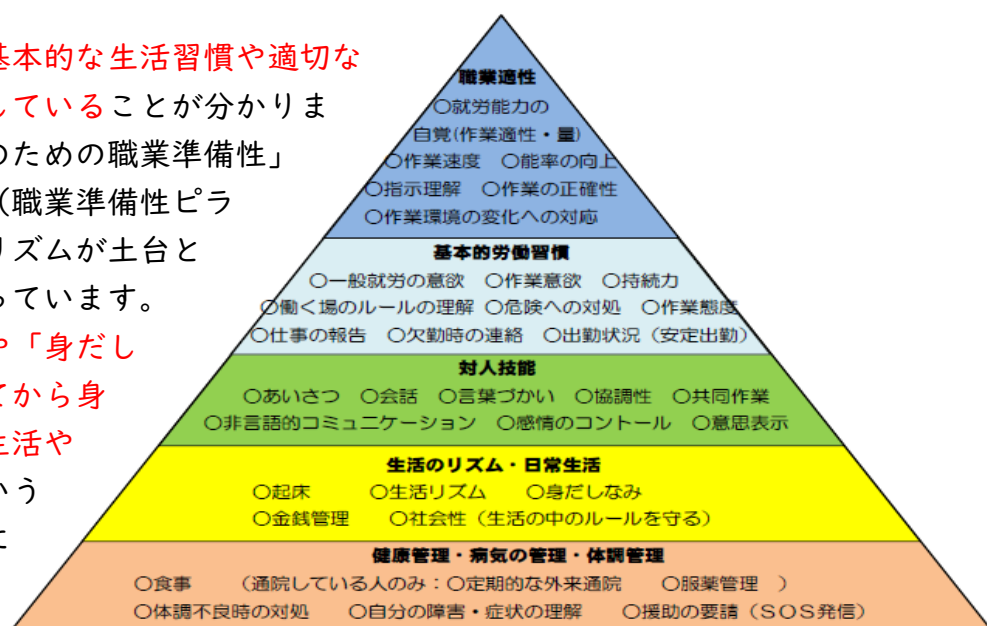
- ・自分から挨拶ができる
- ・良い悪いの違いが分かる
- ・イレギュラーな状況や、やり方が変わっても、変更してできる
- ・窓掃除やトイレ掃除、洗濯物畳み（タオル、衣類）、きれいに並べる
- ・分からないときは自分から聞く
- ・立って作業をし続ける体力がある

### 【就労継続支援 B 型】

- ・休まない
- ・うそをつかない・ずるをしない・ごまかさない
- ・イライラしたら、別の場所へ行って気分転換をして、また作業に戻ることができる
- ・コミュニケーションを取り、仲間を大切にする
- ・報告ができる
- ・失敗したら素直に謝る



以上のことから、**事業所は基本的な生活習慣や適切なコミュニケーションを大切にしている**ことが分かります。また「安定した職業生活のための職業準備性」の段階と内容を表した右の図（職業準備性ピラミッド）でも健康管理や生活リズムが土台となり、その上が対人関係となっています。内容を見てみると、「食事」や「身だしなみ」、「挨拶」などと働いてから身に付けるものではなく、**学校生活や家庭生活で身に付けるもの**ということが分かります。働くために必要な力はいろいろありますが、まずは小学部のうちに着替え、食事、トイレ、



JEED（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構）より

歯磨きなど「**自分のことは自分でできる**」ようになったり、挨拶、約束を守る、感情をコントロールするなど「**集団で過ごすことができる**」ようになったりすることが大切だと考えます。

## ☆小学部のキャリア教育の取り組み☆

続いて小学部のキャリア教育の取り組みをお伝えします。小学部では、職業準備性ピラミッドの土台となる部分、「**健康管理・病気の管理・体調管理**」や「**生活リズム・日常生活**」、「**対人関係**」を重点的に取り組んでいます。できることを見つけて増やすことから始め、最終的には、学校でも家庭でも、支援者が変わっても、「**いつでも、どこでも、だれとでも**」できる**力へと定着、発展**させていきます。今回は、いくつかの取り組みをお伝えします。


### 食事

「学校で食べることに慣れ、楽しむ」ことを大切にし、楽しい雰囲気の中で適切な食習慣を身に付けることができるように指導しています。食具の使い方だけでなく、食べ方（かきこまない、詰め込みすぎないなど）も実態に合わせて指導しています。偏食がある場合は、小さく切ったり、量を減らしたりすることで成功体験を積み重ねながら少しずつ食の幅を広げることができるようにしています。

また、食事は自分の気持ちを伝える場面としても有効です。「いりません」「減らしてください」「おかわりください」などを具体物や絵カード、サインなどの方法で伝える学習も行っています。



### 着替え

手順表を使ったり、手の動きの手本を示したりして、徐々に支援を減らしながら指導をしています。その中で、前後間違えない着方や裏返しにならない脱ぎ方、下着でいる時間を短くする着替え方も指導しています。また、着替えが終わった後の服を畳むことや身だしなみを整えることも大切にしています。着替えが終わるまでふらふらせずに定位置でできるようになることも大切です。

### 排泄

チェック表を付けたり、定時排泄を促したりしてリズムを把握し、トイレに行くことで成功体験を積み重ねることができるようにしています。成功体験を積み重ねることで、尿意を伝えてトイレに行くことへとつなげています。その他にも、ペーパーを適量取り汚れがなくなるまで拭くことも指導しています。



### 遊びの指導、生活単元学習

1・2年生は「遊びの指導」、3年生からは「生活単元学習」を行っています。「遊びの指導」では、感触遊びや感覚遊び、体を使った遊び、簡単な約束やルールのある遊びを通して、周囲のものや人に自分から関わる力を育てることを目標としています。「生活単元学習」では、作る活動、遊ぶ活動、季節や行事と関連した活動などを通して、生活上の目標を達成したり、課題を解決したりすることを目標としています。どちらにおいても先生や友達（人）と関わること、課題を遂行すること、約束を守り集団で行動することなど将来に必要な力を遊びや活動を通して身に付けることができるように指導しています。



### 手洗い



外から戻った時、排泄後、給食前は必ず手を洗ってきれいにする習慣を身に付けることができるよう指導しています。また、手を洗った後は必ずハンカチで拭くように指導しています。手洗いは、場面により意味や目的、方法も変わります。まずは必然性のある状況下で行うことで習慣化を図っています。